

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリ 2
過疎対策・
定住移住

4
課題

安心して子どもを産み育てることができるまちづくり

八代市

結婚の希望をかなえる支援体制の充実、子育て世代包括支援センターによる支援体制の強化、ICTを利用した相談体制及び情報発信の強化、充実したこども医療費助成の実施、第三子以降の保育料及び副食費の無料化の実施などが必要。

企業様へ



結婚・子育てに対するあらゆる支援の充実が必要不可欠です。本取り組みに対しまして、企業様の様々なアイデアやノウハウ等を是非お聞かせください。



市街地の公園

カテゴリ 2
過疎対策・
定住移住

2
課題

「関係人口」を創出・拡大したい

人吉市

継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大に取り組みます。民間企業で働く人材の関係人口の創出・拡大に向けた取り組みを進めるため、地方における副業・兼業などの多様な形態を含めたマッチングを行います。

企業様へ



継続して豊かな関係性を育んでいけるような支援体制の構築を進めます。企業様のアイデアやノウハウの提供をお願いします。



くまもと県庁で開催されている熱中小学校

カテゴリ 2
過疎対策・
定住移住

3
課題

若い世代を中心とした移住定住の推進

荒尾市

若い世代を中心とした定住人口の増加に向け、子どもたちの郷土愛の醸成や転出後も引き続き市とのつながりを持つことでUターンを増やし、また、継続的に多様な形で関わりを持つ「あらおファン」を増やして活用していく必要があります。

企業様へ



あらおファンの方々と関係を深め、本市への移住定住につなげていくため、企業様のお力添えをお願いします。



お試し暮らし体験住宅の室内

カテゴリ 2
過疎対策・
定住移住

4
課題

若者・子育て世代の「みなまた暮らし」の推進

水俣市

本市最大の課題の1つである人口減少に歯止めをかけるため、転入者向けの支援制度の創設や移住イベント等での情報発信に取り組んでいます。今後も若者・子育て世代の転入者増加に向けた取り組みを強化していきます。

企業様へ



本取り組みにつきまして、企業様の様々なアイデアやノウハウ等をお聞かせください。



移住定住お試しハウス

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー 2
過疎対策・
定住移住

2
課題

移住定住の促進

山鹿市

移住定住の受け皿となる空き家の掘り起こしを強化するとともに、お試し住宅での移住体験を通じて移住定住の確かな動機付けにつなげます。また、移住定住希望者へのきめ細かな対応力を高めます。

企業様へ

移住定住の更なる促進に向け、企業様のご支援、ご協力をお願いいたします。



移住定住相談窓口

カテゴリー 2
過疎対策・
定住移住

2
課題

空き家で喜ぶ人を増やしたい!

宇土市

宇土市には2,000戸以上の空き家があり、空き家率は13%を超えています。特に市の西部地区では、人口の減少が顕著で少子高齢化も進行しているため、空き家等を活用した若年層の定住・移住促進につながる仕組みづくりが課題です。

企業様へ

「空き家」と「定住移住」を掛け合わせることで、行政と民間(個人・企業等)にとってお互いの利益になる仕組みを、共に創りたいと考えています。



移住・定住促進PR写真

カテゴリー 2
過疎対策・
定住移住

2
課題

空き家で喜ぶ人を増やしたい!

阿蘇市

宇土市には2,000戸以上の空き家があり、空き家率は13%を超えています。特に市の西部地区では、人口の減少が顕著で少子高齢化も進行しているため、空き家等を活用した若年層の定住・移住促進につながる仕組みづくりが課題です。

企業様へ

「空き家」と「定住移住」を掛け合わせることで、行政と民間(個人・企業等)にとってお互いの利益になる仕組みを、共に創りたいと考えています。



移住・定住促進PR写真

カテゴリー 2
過疎対策・
定住移住

2
課題

もっと住んでみたい、帰ってきたいと思えるまち

玉東町

依然として、玉東町の住宅用地に対する需要が高いことから既に完売した町整備の住宅用地に加え、更なる移住の場を整備する必要があります。

企業様へ

本町の自然に恵まれた土地、また、通勤・通学の利便性を活かした移住施策をさらに展開し、県内外の新たな生活の地となる町を目指します。



町で手掛けた住宅整備やマンション建設

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリ 2
過疎対策・
定住移住

2
課題

生活・産業の基盤となる道路整備を早急に!

長洲町

本町には造船業・サッシ業など多くの企業が立地し、幹線道路を始めとする道路の維持管理は経済活動の維持に不可欠です。また、近隣市町とつながる道路の拡張整備は経済活動だけでなく、町民の生活の利便性向上が期待できます。

企業様へ

生活・産業の基盤となる道路整備を早急に進めるため、ご支援をお願いします。



一部開通した都市計画道路赤田・上沖洲線

カテゴリ 2
過疎対策・
定住移住

2
課題

「おおづ」での結婚・子育て・仕事・生活を支えたい

大津町

結婚・子育て・仕事・生活を叶えるには全ての人が仕事と生活(結婚・子育て・介護・地域活動等)を両立できる環境の整備が必要です。子育てが安心してできる経済的支援やサービスの充実、ワーク・ライフバランスの実現を目指します。

企業様へ

本町で結婚・子育て・生活をしながら働くことを叶えるためのワーク・ライフバランスについて企業様のノウハウやアイデア等をお聞かせください。



町子育て支援センター

カテゴリ 2
過疎対策・
定住移住

4
課題

「おおづ」に新しい人のつながりを創る

大津町

本町は阿蘇と熊本市の中間に位置し、豊かな自然と交通アクセスの利便性などの魅力を兼ね備えています。また、今後町境への半導体企業の進出もあります。地方移住希望者へこのような様々な魅力を発信し、人口流入の持続を目指します。

企業様へ

本町の魅力をアピールし、町への人口流入、更なる活性化を目指しています。情報発信についての民間企業ならではのノウハウ等をお聞かせください。



緑豊かな大津町

カテゴリ 2
過疎対策・
定住移住

1
課題

移住者・次世代人財のための住まい確保と空き家再生

南小国町

町では、農林業や観光業の担い手、移住者の確保に向けた様々な施策を展開していますが、現状では移住の際に一番に考慮される「住まい」が、民間賃貸住宅を含め大きく不足しているため、移住を断念されるケースが多くあります。

企業様へ

年々増えている空き家の再生や活用に向けたアイデアや移住者等の住まいの確保に向けたノウハウの提供など、課題解決に向けた支援をお願いします。



移住定住に向けた事業の様子

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリ-2
過疎対策・
定住移住

1
課題

移住者・次世代人材のための住まい確保と空き家再生

小国町

町では、農林業や観光業の担い手、移住者の確保に向けた様々な施策を展開していますが、現状では移住の際に一番に考慮される「住まい」が、民間賃貸住宅を含め大きく不足しているため、移住を断念されるケースが多くあります。

企業様へ

年々増えている空き家の再生や活用に向けたアイデアや移住者等の住まいの確保に向けたノウハウの提供など、課題解決に向けた支援をお願いします。



移住定住に向けた事業の様子

カテゴリ-2
過疎対策・
定住移住

3
課題

移住・定住したくなる村にしたい

西原村

平成28年に発生した、「熊本地震」の影響により、本村では人口の減少等の大きな変化がありました。現在は回復基調にありますが、より多くの方に西原村に移住・定住をしたいと思われるむらづくりを行いたいと考えております。

企業様へ

相談・受け入れ体制の整備を進めていく必要があるため、ぜひご支援の程よろしく願いいたします。



カテゴリ-2
過疎対策・
定住移住

3
課題

移住・定住したくなる村にしたい

御船町

平成28年に発生した、「熊本地震」の影響により、本村では人口の減少等の大きな変化がありました。現在は回復基調にありますが、より多くの方に西原村に移住・定住をしたいと思われるむらづくりを行いたいと考えております。

企業様へ

相談・受け入れ体制の整備を進めていく必要があるため、ぜひご支援の程よろしく願いいたします。



カテゴリ-2
過疎対策・
定住移住

3
課題

移住・定住したくなる村にしたい

甲佐町

平成28年に発生した、「熊本地震」の影響により、本村では人口の減少等の大きな変化がありました。現在は回復基調にありますが、より多くの方に西原村に移住・定住をしたいと思われるむらづくりを行いたいと考えております。

企業様へ

相談・受け入れ体制の整備を進めていく必要があるため、ぜひご支援の程よろしく願いいたします。



新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー 2
過疎対策・
定住移住

3
課題

空き家の有効活用

氷川町

本町では、空き家の有効活用と定住促進による地域活性化のため空き家バンク事業を実施しており、他の自治体と比較して手厚い補助もあって年間10件を超える登録をいただいておりますが、空き家の数は依然として多い状況です。

企業様へ

連携する大学や企業のアイデア・知見も参考にしながら、空き家の有効活用について幅広い検討を行います。



学生による空き家調査の様子

カテゴリー 2
過疎対策・
定住移住

2
課題

移住・定住の推進のための賃貸住宅整備

芦北町

移住・定住を推進するためにソフト面の施策を充実させているものの、本町には民間の賃貸住宅が少なく、移住者の受け皿が不足している現状です。また、令和2年7月豪雨で被災し、解体した住宅もあり、住宅不足に拍車をかけています。

企業様へ

本町が地方創生を推進するためには、住宅の整備が必須です。民間賃貸住宅整備に関し、ノウハウのある企業様の各方面からの御支援をお願いします。



若年層が魅力を感じる賃貸住宅整備